

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	清水泰博
2. 研究課題名	膵頭十二指腸切除術後胆管炎、胆管空腸吻合部狭窄発生についての後ろ向き観察研究
3. 研究の概要	膵頭十二指腸切除(Pancreaticoduodenectomy, 以下PD)術後の合併症については、膵液瘻、胃内容排泄遅延など短期合併症については、多くの報告が存在する。近年、術前術後補助治療の発達や非悪性疾患に対する本術式の適応症例の増加に伴い、術後数年を経て発生する中長期合併症に対する研究の必要性が高まっている。術後胆管炎、胆管空腸吻合部狭窄は、PD術後の代表的な中長期合併症であるが、その発生率、危険因子、発生要因、術式との関連などについて、ほとんど研究されていない。本中長期合併症についてその詳細が判明すれば、術後患者に対する通院の頻度、投薬内容、術式の細部などに関して、改善、改良を考慮し、それらを前向き研究として次の研究に活用できる可能性が高い。そのような過程を経て、術式、術後管理の標準化がなされれば、外科医にも患者にとっても有益である。
	研究期間:平成27年7月から平成37年12月31日 (遺伝子解析:②行わない)
4. 使用する診療情報	診療情報内容(カルテ記載内容 画像所見) 対象収集期間 平成8年1月1日～平成37年12月31日
5. 使用する検体	検体名( 検体使用はない ) 検体採取時期 平成 年 月 日～平成 年 月 日
6. 病名	膵頭部領域癌

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。  
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。  
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

★お問い合わせ★

愛知県がんセンター管理課 会計グループ  
主事 北野 孝拓  
住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号  
FAX : (052-764-2963)  
e-mail:koutaku\_kitano@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)